

藻場造成

海の中の森づくり



▶藻場の重要性

アラメ、カジメ、コンブ、アマモ等の海藻草類が群落をなして繁茂している場所を藻場といいます。藻場は、魚介類の産卵・成育の場として、また、海藻草類が栄養塩類や二酸化炭素を吸収することから、地球環境を改善するといった重要な役割を果たしています。近年、「埋め立て」や「磯焼け」現象などにより各地で藻場の面積が急激に減少し、藻場を人為的に造成する技術が求められるようになってきました。

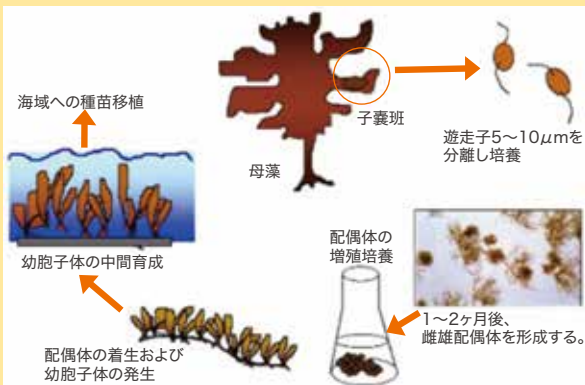


造成したカジメ場

▶藻場造成の技術的ポイント

藻場造成には、移植する海藻草類の種苗が大量に必要となります。しかし、海域の藻場から大量に採取することは、天然藻場の生態系に影響を及ぼします。当社では、天然藻場から少量を採取し、それを基に、陸上施設にて移植種苗を大量生産します。このため、周囲の天然藻場に配慮した環境にやさしい藻場造成が可能となります。

アラメ・カジメの種苗生産

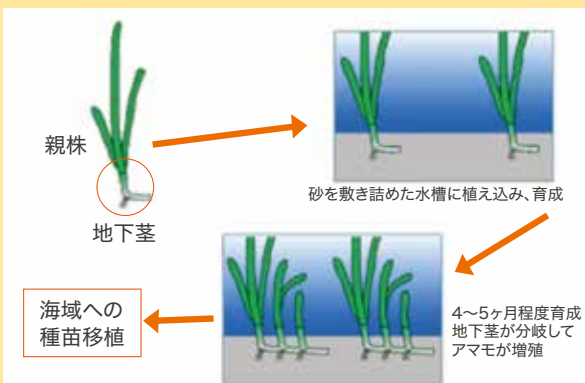


バイオ技術(配偶体培養)による種苗生産工程



配偶体からの種苗生産

アマモの種苗生産



株分けによる種苗生産工程



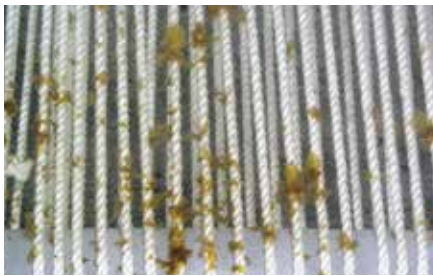
親株植え込み時



4~5ヶ月育成後

▶藻場造成の実例

アラメ・カジメ場造成



配偶体から生産した種苗



陸上施設で育成した種苗①



陸上施設で育成した種苗②



移植後のカジメ①



移植後のカジメ②



造成したカジメ場

アマモ場造成



陸上施設で育成した種苗

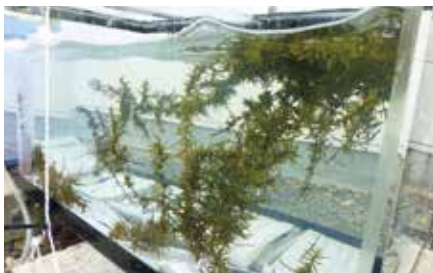


海域への移植作業



造成したアマモ場

ガラモ場造成



ヒジキ幼胚の着生



陸上施設で育成した種苗



移植後のヒジキ

▶計画から評価まで高い技術力で対応

当社は、発電所の環境アセスメントやモニタリング調査を始め、官公庁・民間会社からの各種海域環境調査に豊富な業務実績があり、藻場造成における計画から種苗生産・造成、評価までの一連の業務に高い技術力で対応致します。

